0/5

1.

なぐさめ はげまし 長崎の あゝ 長崎の鐘が鳴る うねりの波の人の世に はかなく生きる野の花よ こよなく晴れた青空を 悲しと思うせつなさよ

なぐさめ はげまし 召されて妻は かたみに残る 3 天国へ 別れて一人 旅立ちぬ ロザリオの 鎖に白き 我が涙 長崎の あゝ 長崎の鐘がなる

輝く胸の なぐさめ はげまし 長崎の あゝ 長崎の鐘が鳴る つぶやく雨のミサの声 たたえる風の 十字架に ほゝえむ海の 雲の色 神の歌

貧しき家の 柱にも なぐさめ はげまし 長崎の あゝ 長崎の鐘が鳴る こころの罪をうちあけて 更け行く夜の 月すみぬ 気高く白きマリア様

悲しと思うせつなさよ はかなく生きる野の花よ うねりの波の人の世に なぐさめ はげまし こよなく晴れた青空を

長崎の鐘が鳴る あ

長崎の

1/4

2

召されて妻は 旅立ちぬ 天国へ

ロザリオのかたみに残る

鎖に白き 我が涙

長崎の なぐさめ はげまし

鐘がなる。長崎の

3

輝く胸の たたえる風の つぶやく雨の 十字架に 神の歌 ミサの声

ほくえむ海の 雲の色

なぐさめ はげまし

長崎の あゝ

長崎の鐘が鳴る

4

こころの罪をうちあけて け行く夜の 月すみぬ

しき家の 柱にも

なぐさめはげまし 気高く白き

長崎の

あゝ

長崎の鐘が鳴る

End

新 朝

長崎

鐘

(永井隆博士詩)

その後、藤山一郎が旋律をつけて歌っている。 dびけ長崎の鐘」から贈られた短歌 新しき朝の光のさしそむる荒野にひ藤山一郎が病床の永井隆博士のもとを訪れた時に博士 新しき朝の光のさしそむる荒野にひ

End